

◆世界史◆ 科目別講評

(1) 出題方針

世界史の問題は[I] [II] [III]の三つの大問で構成され、配点はそれぞれ50点であり、全体で150点満点、試験時間は75分である。いずれの大問も、番号選択と記述式の二つの形式を混合して出題される。高校で学ぶべき知識を万遍なく学習したかどうかを重視しているため、出題範囲は高校世界史の教科書の記述内に留まり、それ以上の専門知識は求めている。その限りにおいて、先史時代から現代まで、欧米や中国のみならずどの地域についても、政治・経済・文化などあらゆる分野から出題される可能性がある。大問ごとに主たる地域・時代が設定されるが、個々の設問の出題範囲は必ずしもそれに限定されない。

大問によっては、ある地域の長期的展開の理解が問われる。例えば2月6日[I]は宋代までの中国史、2月9日[I]は古代末期・中世初期の地中海世界史の展開に関連する大問である。一方、同時代の地域間関係の理解を問うものとして、例えば2月5日[II]は近世の三つのイスラーム王朝、2月6日[III]は第一次世界大戦前後のヨーロッパを中心とする国際関係、2月9日[II]は17世紀後半・18世紀のヨーロッパ内外の状況、2月9日[III]は19世紀末・20世紀のアジア・アフリカ諸地域の動向、2月10日[III]は第二次世界大戦後の国際関係に関連する大問である。長期的展開と地域間関係の双方を問うものとして、例えば2月7日[II]では元朝から18世紀までの中国の対外的な関係・交流、2月8日[I]ではアフリカと南アメリカ、2月10日[I]では中国および内陸アジアの諸勢力について出題した。2月5日[I]では、古代オリエント・ギリシア・ローマ史の展開にくわえ、その他の地域・時代からも幅広く出題した。

(2) 解答状況および解説

試験日ごとの受験者／合格者の平均得点率は、2月5日は65.5／76.7%、2月6日は72.5／83.0%、2月7日は72.7／84.5%、2月8日は67.7／76.1%、2月9日は76.2／86.8%、2月10日は67.3／79.0%という結果だった。全体として正解率はおおむね高く、受験生の学習成果が表れているといえよう。

いずれの日程も、合格者の平均得点率は、受験者より約10%高くなった。以下、比較的大きな差が生じた設問を挙げる。まず歴史の流れ、因果関係の理解を問うものとして、2月6日[III]設問3は、第一次世界大戦の終結にいたるまでのドイツについて、四つの事件の正しい年代順を選ぶ問題である。次に複数の地域にまたがる理解を問うものとして、2月5日[II]設問10は近世イスラーム諸王朝と西欧諸国との関係、同日[III]設問3(H)は19世紀・20世紀初頭のアジア・アフリカにおけるイギリスの動向、2月9日[II]設問3①は1713年のユトレヒト条約、2月10日[III]設問3(5)は1970年代のデタントについての問題である。その他、知識の正確さを問うものとして、2月7日[III]設問2⑤はマルクスの思想と著作、2月9日[III]設問5は1912年に成立したサレカット＝イスラームについての問題である。2月10日[I]設問17はキリスト教と東方との関係についての問題だが、ヨーロッパ側の事情もあわせて考えなければ解けない。以上のように、正確な知識を組み合わせて運用できるようになっておくことが求められる。

(3) 受験生へのメッセージ

何より重要なのは、高校世界史の教科書の内容を万遍なく学習しておくことである。具体的な人名・地名・用語の意味や意義を頭に入れ、その知識にもとづいて長期的展開や地域間関係を理解したうえで、試験に臨んでほしい。

受験上の注意としては、以下の点が挙げられる。まずリード文・問いかげ文・選択肢を、落ち着いてよく読むこと。それによって正解を導く手がかりを見出せるだろう。逆に問いかげ文の指示を正確に読み取らなかったために、誤って解答しているケースがあった。

次に、解答欄には丁寧に記入すること。数字・漢字・カタカナなど、正確さはむろんのこと、明確に書くことが求められる。とりわけ記述式問題に解答する際は、慎重さが必要である。漢字の間違ひは誤答となる。またカタカナで解答する場合、曖昧な覚え方をしているもの、例えば「ブ」と「ヴ」などB音・V音の混同、濁音符・半濁音符・長音符・促音の誤り、単一の言葉をハイフンなどで分けて書いたものは誤答となる。教科書でどのように表記されているか、よく注意して勉強されたい。ただし、もし正しく覚えていたとしても、例えば「シ／ツ／ミ」、「ア／マ」、「ソ／ニ／メ／リ／ン」、「カ／

ク/ワ」、「コ/ユ」、「テ/ラ」をしっかり書き分けていなければ、誤答と判断される可能性があるので、この点にも注意が必要である。

◆世界史◆ 出題の意図

102	出題の意図
[Ⅰ]	古代のオリエントからギリシア・ローマまでの展開についての理解を、その他の地域・時代に関連する知識とともに問う。
[Ⅱ]	近世のオスマン朝・サファヴィー朝・ムガル朝を中心に、イスラーム史に関する知識を問う。
[Ⅲ]	19世紀ヨーロッパの政治・経済・文化に関連する知識を問う。
103	出題の意図
[Ⅰ]	古代から宋代までの中国史の展開についての理解を、社会経済に関連する知識を中心に問う。
[Ⅱ]	中世ヨーロッパの経済・商業に関連する知識を問う。
[Ⅲ]	第一次世界大戦前後のヨーロッパに関連する知識を、国際関係とともに問う。
104	出題の意図
[Ⅰ]	中世ヨーロッパの文化面に関連する知識を問う。
[Ⅱ]	元朝から清代の18世紀までの中国史の展開についての理解を、対外的な関係・交流に関連する知識とともに問う。
[Ⅲ]	近代ヨーロッパの社会と文化に関連する知識を問う。
105	出題の意図
[Ⅰ]	古代から18世紀までのアフリカ史の展開についての理解を、アメリカ大陸に関連する知識とともに問う
[Ⅱ]	16世紀・17世紀前半のヨーロッパに関連する知識を、政治と宗教を中心に問う。
[Ⅲ]	両大戦間期から第二次世界大戦後までの北アメリカに関連する知識を、対外関係とともに問う。
106	出題の意図
[Ⅰ]	古代末期から7世紀までの地中海世界史の展開についての理解を、宗教・文化面に関連する知識とともに問う。
[Ⅱ]	17世紀後半・18世紀ヨーロッパ史に関連する知識を、フランスの政治外交を中心に問う。
[Ⅲ]	19世紀末・20世紀のアジア・アフリカに関連する知識を、各地域の独立運動を中心に問う。
107	出題の意図
[Ⅰ]	漢代から元代までの中国および内陸アジア史の展開についての理解を、諸人物・諸勢力に関連する知識とともに問う。
[Ⅱ]	19世紀を中心に北アメリカ・ラテンアメリカにおける政治・経済・社会に関連する知識を問う。
[Ⅲ]	第二次世界大戦後の国際関係に関連する知識を、アメリカ・中国・ソ連を中心に問う。